

書誌第105号追

九州沿岸水路誌

追補第5

令和5年（2023）7月14日発行



海上保安庁

九州沿岸水路誌

追補第5

この追補は、令和3年3月刊行の九州沿岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和5年6月16日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和5年7月14日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所(表題、港名等)	備考
11	水先人会	
26	水路通報	
49	博多港	追補第3の当該ページは無効
70	松浦港	
78	比田勝港 ・ 二神島～佐世保港口	
108	口之津港	
113	多比良港	
118	長洲港	追補第4の当該ページは無効
126	本渡瀬戸 ・ 本渡港	追補第4の当該ページは無効
127	本渡港	追補第4の当該ページは無効
136	八代港	追補第1の当該ページは無効
170	鹿児島港	
171	鹿児島港	
217	那覇港	
220	那覇港	
246	石垣港	

水先人会

各水先区における水先人会は、次のとおりである。

名称等	乗船地点	備考
博多水先区水先人会 TEL 092-291-4494 FAX 092-271-3373	能古島灯台から 014° 820m (33° 38.7' N 130° 18.4' E 概位) の港域線上	VHF を装備している入港船は、水先人乗船地点への到着予定時刻を「博多ポータルラジオ」経由で連絡すること。
佐世保水先区水先人会 TEL 0956-22-9059 FAX 0956-25-1508	面高白瀬灯台から 010° 1.2M (概位 33° 06.7' N 129° 37.9' E) 但し、荒天の際は、VHF により港口付近まで進航を求める場合がある。	1 水先人は、風下舷側より乗船する。 2 高後埼信号所の信号に注意し、出港信号の場合は早めに減速すること。
長崎水先区水先人会 TEL 095-823-6465 FAX 095-823-3071	伊王島灯台(真鼻)の北方1M(概位 32° 43.8' N 129° 45.7' E)付近 巨大船は同灯台から 300° 1.5M(概位 32° 43.6' N 129° 44.2' E)付近	パイロットラダーは、風下舷側に水面上約 0.6m 60cm の高さに用意すること。
島原海湾水先区水先人会 TEL 0944-53-1405 FAX 0944-51-3529	1 三池港 検疫錨地付近 2 三角港 三角灯台沖検疫錨地付近又は戸馳島灯台沖検疫錨地付近 3 島原湾入口 瀬詰埼灯台の南西方 1M付近から口之津灯台の南方 1M付近の間	島原湾入口では、特に要請があれば五通礁灯標の北方 2M付近で乗船するが、波浪及び潮流の状況が悪い時は乗船できない。
鹿児島水先区水先人会 TEL 099-260-7707 FAX 099-260-7717	1 検疫を要する船舶及び本港区、新港区に入港する船舶： 検疫錨地付近(31° 33.2' N 130° 35.4' E) 2 木材港及び谷山区(1区、2区)に入港する船舶で検疫を必要としない船舶： 谷山区(第1区)北防波堤灯台の東方約 3,600m 3 谷山区2区に入港するLNG船： 谷山2区東防波堤灯台の東方約 2,300m(31° 28.9' N 130° 33.9' E)にて、タグボートで乗船する。	1 パイロットラダーを風下舷側、水面上約 2mの高さで用意すること。 2 夜間入港は原則として行わないので、検疫錨地又は錨地で待機すること。但し、谷山区出港は 2100 まで乗船する。
細島水先区水先人会 TEL 0982-55-0427 FAX 0982-55-0427	検疫錨地付近 (概位 32° 26.0' N 131° 42.0' E) (荒天の際は、防波堤の内側で乗船する)	1 パイロットラダーを左舷に用意し、揚錨して風下舷になるよう操船すること。 2 荒天の際は、防波堤の内側で乗船するので、パイロットラダーを右舷に用意して進入すること。この場合、VHF 又は水先艇で誘導する。 3 水先艇のVHFを用いて、乗船時刻の30分前に交信を始める。
那覇水先区水先人会 TEL 098-868-1613 FAX 098-868-9785	1 通常の乗船場所 那覇港中央灯浮標から 270° 1.5Mを中心とする半径 0.5Mの円内海域 (26° 14.0' N 127° 36.2' E) 2 冬季及び強風時(10m/see以上) 那覇港中央灯浮標から 265° 3.0Mの地点 (26° 13.8' N 127° 34.7' E)	1 那覇ふ頭の最大喫水は 9.4m。 2 パイロットラダーは波浪の反対舷側で使用する。 3 冬季に風浪が高く、タグボートの航行が困難な場合は、2の地点で錨泊待機するよう、予め代理店を通して本船に連絡する。

第9章 危険情報の入手

海上保安庁では、航海の安全確保のために必要な海図、水路誌などを刊行するとともに、これらの刊行物を最新維持する情報や船舶交通の安全のために必要な情報を提供している。

5

水路通報

水路通報 海上保安庁は、水路図誌（海図、水路誌等）を最新維持するための情報、船舶交通の安全情報等をウェブページにより毎週金曜日に提供している。

- 10 **管区水路通報** 管区海上保安本部では、担任水域及びその周辺海域における船舶交通の安全及び能率的な運航に必要な情報を、ウェブページ及び電子メール及びポータルサイト等により、原則として毎週1回又は随時提供している。

航行警報

- 15 **NAVAREA XI 航行警報** 世界航行警報業務の規定に基づく第 XI 区域（北太平洋西部及び東南アジア海域）に係る船舶の安全のために、緊急に通報を必要とする情報をインマルサット静止衛星を利用した EGC システム（高機能グループ呼出し）によって提供（英語）しているもので、専用の自動受信機により情報を入手できる。また、この情報はウェブページでも提供している。

- 20 特に、緊急性の高い情報（海底火山活動、機雷漂流、人工衛星等飛行物体の落下、航路障害物の存在等）については随時送信している。

NAVTEX 航行警報 日本の沿岸約 300M以内の区域に係る船舶交通の安全に必要な情報のうち、緊急に通報を要するものを NAVTEX 放送により提供しているもので、専用の自動受信機により情報を入手できる。また、この情報はウェブページでも提供している。

この水路誌記載区域における放送スケジュールは、次表のとおりである。

海岸局	識別符号	種別	電波の型式・周波数	定時放送開始時刻 (JST)
門司	H	日本語	F1B 424kHz	0117 0517 0917 1317 1717 2117
		英語	F1B 518kHz	0210 0610 1010 1410 1810 2210
那覇	G	日本語	F1B 424kHz	0100 0500 0900 1300 1700 2100
		英語	F1B 518kHz	0200 0600 1000 1400 1800 2200

- 25 **地域航行警報** 管区海上保安本部の管轄区域及び海上保安部の担任水域並びにその付近海域を航行する船舶の安全のために、緊急に通報を必要とする情報を、最寄りの海岸局から無線電話で提供（日本語又は英語）している。また、ウェブページでも提供している。

海岸局	呼出名称	電波形式及び周波数	送信開始時刻（日本時間）	
門司	もじほあん	F3E 156.8MHz	10時02分40秒	16時02分40秒
鹿児島	かごしまほあん		10時20分00秒	16時20分00秒
那覇	おきなわほあん		10時10分00秒	16時10分00秒

	信号	目的地に関する記号	信文
進路表示信号 (平成7年海上保安庁告示第35号) 及び 船舶自動識別装置の目的地に関する記号 (平成22年海上保安庁告示第94号)	2代・C	C	第1区東浜ふ頭4岸から須崎ふ頭4岸に至る間の係留施設に向かって航行する。ただし、北防波堤北端から箱崎防波堤南端まで引いた線を通過する場合を除く。
	2代・P	P	第1区箱崎ふ頭から東浜ふ頭5岸に至る間の係留施設に向かって航行する。ただし、北防波堤北端から箱崎防波堤南端まで引いた線を通過する場合を除く。
	2代・S	S	第1区須崎ふ頭北護岸から西公園下防波堤に至る間の係留施設に向かって航行する。ただし、北防波堤北端から箱崎防波堤南端まで引いた線を通過する場合を除く。
	2代・E・1	E 1	北防波堤北端から箱崎防波堤南端まで引いた線を通過し、第1区の係留施設に向かって航行する。
	2代・E・2	E 2	第2区の係留施設に向かって航行する。

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考	
アイランドシティ	1号岸壁	33° 39.6' N 130° 24.9' E	220	5	5,000×1	
	2号岸壁	33° 39.7' N 130° 24.8' E	155	6.5	5,000×1	
	3・4号岸壁	33° 39.6' N 130° 24.7' E	230	7.5	5,000×1	
	5号岸壁	33° 39.6' N 130° 24.5' E	190	10.5	18,000×1	
	6号岸壁	33° 39.5' N 130° 24.4' E	330	13.5~14	50,000×1	コンテナクレーン
	7号岸壁	33° 39.4' N 130° 24.2' E	350	13.5~15	60,000×1	コンテナクレーン
	8号岸壁	33° 39.3' N 130° 24.0' E	210	13.5~15	60,000×1	コンテナクレーン
香椎パークポート	1~3号岸壁	33° 38.9' N 130° 24.6' E	390	7.5	10,000×3	
	4号岸壁	33° 39.2' N 130° 24.4' E	300	11.5~12.5	40,000×1	コンテナクレーン
	5号岸壁	33° 39.2' N 130° 24.6' E	300	12~13	40,000×1	コンテナクレーン
	6号岸壁	33° 39.3' N 130° 24.7' E	190	10	15,000×1	
	7~9号岸壁	33° 39.4' N 130° 24.8' E	390	6~7.5	5,000×3	
箱崎ふ頭	1~3号岸壁	33° 37.3' N 130° 24.6' E	390	6.5~7	5,000×3	
	4号岸壁	33° 37.3' N 130° 24.4' E	185	10	15,000×1	
	5号岸壁		270	10.5~12	30,000×1	先端にドルフィンがある。
	6~10号岸壁	33° 37.6' N 130° 24.3' E	650	6.5~7	5,000×5	
	11号岸壁	33° 37.8' N 130° 24.4' E	230	7.5	5,000×1	
	12・13号岸壁	33° 38.0' N 130° 24.4' E	480	12	30,000×2	アンローダークレーン2基
	材木岸壁	33° 38.4' N 130° 24.4' E	360	10	15,000×2	
東浜ふ頭	1号岸壁	33° 36.7' N 130° 24.2' E	200	3.5	700×3	
	2号岸壁		80	3.5	2,000×1	
	3号岸壁	33° 36.8' N 130° 24.1' E	430	2~4	2,000×4	
	4号岸壁	33° 37.0' N 130° 24.0' E	390	4.5~6.5	5,000×3	
	5号岸壁	33° 37.1' N 130° 24.2' E	310	4~7.5	5,000×2	
中央ふ頭	3号岸壁	33° 36.4' N 130° 24.0' E	130	7	5,000×1	
	4号岸壁	33° 36.5' N 130° 23.9' E	220	8	15,000×1	
	5・6号岸壁	33° 36.6' N 130° 23.8' E	599	10~10.5	15,000×2	先端にドルフィンがある。

松浦港 (33° 22' N 129° 41' E) (海図W1270) (JP MTS)

港種 港則法適用港、開港

概要 伊万里湾の西端に位置する港である。港内の南岸に電源開発松浦火力発電所があり、10万t級の石炭運搬船が入出港する。

5 目標

地物名	概位	備考
煙突	33° 21.4' N 129° 41.5' E	高さ204m、灰色塗、電源開発松浦火力発電所構内
煙突	33° 21.0' N 129° 40.9' E	高さ203m、灰色塗、九州電力松浦発電所構内

針路法 巡視船は、青島水道及び津崎水道を航過した後、岳崎鼻 (33° 23.2' N 129° 41.1' E) を十分に離して発電所構内の煙突を船首目標として港に接近する。

注意 城山周辺から金比羅鼻付近にかけて養殖施設が、また、魚固島 (33° 25.3' N 129° 42.6' E、高さ57m) 南東部及び鷹島イカヅチ鼻南西方から同犬埼にかけて養殖施設及び漁具が多数設置されているので注意を要する。

10

通信 港湾管理者と入出港に必要な港務通信を行うことができる。

呼出名称	周波数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連絡先	備考
まつうらポートルジオ	16/12・14ch	0600~2000	0956-72-5353	東洋信号通信社受託局

港湾施設 松浦火力発電所には、松浦10万トン級石炭岸壁及び5千トン級補助岸壁がある。港内西部の御厨地区に物揚場及びフェリー岸壁がある。港の南東部に水深5m以下の小船だまりがあり、その東側に公共岸壁がある。

海上交通 御厨地区から青島を経て鷹島・黒島・大飛島に至るカーフェリー便 (162t) がある。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
比田勝海上保安署	0920-86-2113	福岡検疫所厳原・比田勝出張所	0920-52-0089

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

海上交通 博多港との間にカーフェリー便 (1,125t675t) 及び高速旅客船便、韓国釜山からのカーフェリー便及び高速旅客船がある。

5

第3節 壱岐水道西口～野母埼 (海図W187)

二神《フタガミ》島～佐世保港口 (平戸島西側経由) (海図W198、W1249)

概要 壱岐水道の西口にある二神島及び小二神島から南方には、的山大島、度《タク》島、生月《イキツキ》島などを挟んで平戸島がある。この海域は九州北岸～西岸を航行する船舶の通航が多い。

目標

地物名	概位	備考
二神島	33° 36.3' N 129° 33.2' E	高さ91m、南部に灯台がある。岸は険しいがけを成す。
小二神島	33° 36.9' N 129° 31.1' E	小島(高さ57m)で、周囲は急深である。
的山《アズチ》大島	33° 29.3' N 129° 32.7' E	北東部にある後ノ浦以外の島岸はすべて険しいがけで、島頂(高さ216m)は南方から玄界灘に向かうときの好目標。島の東及び西側の峰付近に、風力タービンが複数設置されている。

注意 的山大島の長崎鼻(33° 30.6' N 129° 33.3' E)から北方に延びる礁脈がある。少し波があると白波が立つので、その外端を識別することができる。

大島瀬戸(33° 27.7' N 129° 31.2' E)は、的山大島～度島間の水道で、最狭部は約1M、水深は30～70mあり、大型船も通航できる。

針路法 大島瀬戸を西航しようとする船舶は、度島北端の荒埼(33° 27.3' N 129° 31.8' E)を生月島北端付近の大礮鼻《オオバエハナ》灯台(33° 26.4' N 129° 25.8' E)と一線(260°)に見て進み、蛸ノ曽根(33° 27.9' N 129° 34.1' E、水深4m)の南方約500mの地点を通過してから、適宜の針路に変針して中曽根(33° 28.0' N 129° 32.3' E、水深8.3m)に注意しながら瀬戸を通過すればよい。

潮流 大島瀬戸では、上げ(下げ)潮流は西(東)方へ流れ、最強流速は上げ2.8kn、下げ3.3knである。

白岳瀬戸(33° 25.0' N 129° 32.3' E)は、度島～平戸島間にある水道で、小幅0.7M、東口はやや浅くて、水深16～20mの北西～南東方向に延びる堆がある。

針路法 白岳瀬戸を西航する船舶は、平戸島のハナグリ鼻(33° 24.4' N 129° 31.5' E)と中江ノ島北西端の千鳥鼻(岩頂)(33° 22.5' N 129° 27.8' E)とを一線(237°)に見て進み、肥前横島灯台(33° 25.3' N 129° 32.1' E)正横後、適宜の針路に変針して瀬戸の中央を通航すればよい。

潮流 白岳瀬戸では上げ(下げ)潮流は西南西(東北東)方へ流れ、最強流速は上げ2.9kn、下げ2.5knである。

25

第4節 島原湾及び八代海 (海図W169、W206)

概要 天草諸島を挟んで北側に島原湾、南側に八代海がある。島原湾に入る早崎瀬戸、八代海に入る長島海峡ともに強潮流があるが、湾内に入ると台風時の好避泊地が得られる。

この両湾は天草諸島の中の諸水道で接続している。

5 島原湾東岸の大牟田市、八代海東岸の八代市及び水俣市には諸化学工場や、また、島原湾東岸の長洲町には大造船所がある。

島原半島及び天草諸島の大部分は雲仙天草国立公園に指定されており、湾内を頻りに往来する小型定期船が多い。

10

早崎瀬戸 (32° 34' N 130° 10' E) (海図W169、W206)

概要 島原半島南岸と天草下島北岸との間にある早崎瀬戸は、水深10m以上、水路の幅は約2Mである。瀬戸西口にある水深2.4mの五通礁《ゴツウショウ》上には、灯標が設置されているが、潮流に注意が必要である。憩流時には数十隻の小型漁船が操業を行い、船舶の通航の妨げとなることがある。瀬戸東口の南側にある鬼池港と北側の口之津港間に定期フェリー便がある。

15

潮流 瀬戸最狭部中央では、上げ(下げ)潮流は、東南東(西北西)方へ流れ、最強流速は上げ6.1kn、下げ6.7knである。

20

口之津港 (32° 36' N 130° 12' E) (海図W192) (JP KUC)

港種 港則法適用港

概要 島原湾口の早崎瀬戸北岸にあり、主として小型船が避泊に利用する。港内は南寄りの強風時には、うねりが侵入することがある。北及び南岸には養殖施設がある。

目標

地物名	概位	備考
市役所支所	32° 36.7' N 130° 11.1' E	茶色塗、3階建
富士山	32° 37.6' N 130° 11.4' E	入港時の目標

25

錨地 土平《ツチビラ》埼(32° 36.1' N 130° 11.8' E)の南東方500m付近で水深18m前後、底質泥の所がよく、ここは南寄りの風の強吹するときを除き、おおむね各方向の風を防ぐことができる。

港湾施設 港奥の西岸にカーフェリー専用の栈橋(32° 36.7' N 130° 11.2' E)及び口之津港栈橋がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

30

修理 応急修理のできる造船所・鉄工所がある。

海上交通 天草下島にある鬼池港との間にカーフェリー便(620t~~605t~~及び548t)がある。

目標

地物名	概位	備考
サイロ	32° 48.9' N 130° 21.7' E	セメント、灰色
タンク	32° 48.7' N 130° 21.8' E	白色

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
-5.5m岸壁A	32° 48.8' N 130° 21.8' E	180	5	2,000×2	
-4.5m岸壁		60	4~4.5	700×1	
-7.5m岸壁		130	4~7	5,000×1	
-5.5m岸壁B		90	5	2,000×1	

5 多比良《タイラ》港 (32° 53' N 130° 19' E) (海図W172分図)

概要 島原半島の北東端にあり、中央部の防波堤（北）（先端付近に灯台がある）で、本港地区と漁港地区に分かれている。

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
フェリーふ頭	32° 52.6' N 130° 18.5' E	—	2.5~3.5	850×1	

補給 清水はフェリーふ頭で補給できる。

10 **海上交通** 長洲港との間にカーフェリー便 (696~870t759t及び888t) がある。

三池港 (33° 00' N 130° 24' E) (海図W189) (JP MII)



(2019年9月撮影)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、植物防疫の港、重要港湾

海上交通 多比良港〔島原半島北岸〕との間にカーフェリー便 (~~696~870t~~~~758 t~~、~~762 t~~ 及び ~~888 t~~) がある。

熊本港 (32° 46′ N 130° 34′ E) (海図W171) (JP KMP)



(2019年12月撮影)

5

港種 港則法適用港、開港、家畜検疫の港、植物防疫の港、重要港湾

概要 島原湾東奥にあり、熊本都市圏と直結した人工島形式の流通港湾として、新たに港湾工事を進めている港である。付近は広大な干潟地帯である。この港の背後に**沖新**、**四番**及び**海路口**の各漁港がある。

水路 西方から新港に至る水路は、幅約200m、水深4.5~8mで水路の入口は2灯浮標で表示されている。また、水路の両側には潜堤が築造され、標識灯(黄色)で表示されている。

10

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
1号岸壁(-5.0m)	32° 45.8′ N 130° 35.4′ E	236	2~5	1,000×2	フェリー使用
2号岸壁(-5.0m)	32° 45.7′ N 130° 35.3′ E	120	2.5~4.5	700×2	
3号岸壁(-5.5m)	32° 45.7′ N 130° 35.2′ E	180	3~5	2,000×2	
4号岸壁(-5.5m)		89	4.5~6	2,000×1	
5号岸壁(-7.5m)	32° 45.7′ N 130° 35.0′ E	130	7.5	5,000×1	ガントリークレーン

台風・津波対策 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、熊本港等船舶津波、台風等対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：熊本海上保安部)

15

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
長崎税関八代税関支署熊本出張所	096-322-3004	熊本県熊本港管理事務所	096-329-4411
福岡出入国在留管理局熊本出張所	096-362-1721		

海上交通 対岸の島原港との間にカーフェリー便 (850~1,674 t) がある。

島東端～船人島間を東口とし、長さ約2.8mである。この瀬戸の東半部は南、北二つの水路に分かれている。南側を**丸子ノ瀬戸**といい、地元小型船などが通航する。池島ノ瀬戸西口の南側にある飛竜島（32° 32.1′ N 130° 22.8′ E、高さ25m）は高杣島とともに池島ノ瀬戸を航行する好目標となる。

5 **赤松ノ瀬戸**（32° 31.8′ N 130° 26.4′ E）（海図W208）は、瀬戸中央でも水深2m前後の所があり、一般船舶の通航には適しない。

天草上島北岸にあつて天草上島と前島との間の水道を港域とする**合津港**は、北西口は丸子ノ瀬戸に、北東口は赤松ノ瀬戸に通じている。

10 **本渡瀬戸**（32° 26.4′ N 130° 12.4′ E）（海図W1252）は、天草諸島の上島と下島に挟まれた水路である。開発保全航路（港湾法）に指定され、対象船舶を700D/Wとして、水路の幅50m・水深4.5mを維持している。しかし、航路の海底断面は、すり鉢状をしているため東西両端は浅く、潮差は最大3m以上、湾曲が多く、見通しが悪い。水路北口は本渡港灯標の西側にあり、北口の南方約1.2kmにある昇開橋（32° 26.7′ N 130° 12.3′ E、高さ17m）には監視員が常駐（4～9月0600～2030、10～翌3月0630～2000）し、船舶が接近すれば所要の高さまで橋げたを上げる。また、昇開橋の北方約270mに天草瀬戸大橋（高さ16～17m）が、その北方約450mに**第2天草瀬戸未来大橋（仮称）（建設中）**高さ約17m）がある。

15 本渡瀬戸から八代湾に通じる**横島瀬戸**（32° 23′ N 130° 14′ E）（海図W174）は、水深10m以上の幅は約300mである。北方は、周囲を天草上島、天草下島で囲まれ、水深5～20mで底質も良い。湾内沿岸には養殖施設がある。

20 **本 渡 港**（32° 27′ N 130° 12′ E）（海図W1252）（JP HOD）

港種 港則法適用港

概要 天草上島と天草下島との間にある。本渡港内に本渡瀬戸がある。

目標

地物名	概位	備考
ホテル	32° 28.4′ N 130° 12.4′ E	5階建
第2天草未来大橋（仮称）	32° 27.1′ N 130° 12.3′ E	建設中（2022年度完成予定）、高さ約17m

25 **水路** 港内中央に北東方へのびる防砂堤（高潮時には水没、先端に灯台）があり、その南側に掘下げ水路（幅約50m、水深4.5m）がある。

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(G/T×隻)	備考
本渡港岸壁（-4.5m）	32° 27.5′ N 130° 12.1′ E	240	2.5以下	700×4	
本渡港1号岸壁（-4.5m）	32° 27.4′ N 130° 12.0′ E	60	—	700×2	
本渡港2号岸壁（-4.5m）		82	—	700×1	
本渡港浮棧橋（-4.5m）		70	—	300×2	

台風・津波対策 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、三角港等船舶津波、台風等対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：熊本海上保安部)

架橋 本渡瀬戸北部を横断する天草瀬戸大橋(高さ16~17m)、~~第2天草瀬戸未来大橋(仮称)(建設中、~~高さ約17m)及び昇開橋(高さ17m)がある。

架空線 本渡瀬戸を横断する4架空線(高さ、北から約17m、約21m、21m及び36m)がある。

海上交通 本渡港~前島~三角港間及び本渡港~御所浦港間の定期旅客船便がある。

航行上の注意 港内中央にある防砂堤(北東端に灯台がある)は高潮時に水没するため、この防砂堤への乗揚げに注意すること。

10

長島海峡~八代海(海図W174, W178, W206)

概要 長島海峡、八幡瀬戸及び元ノ尻《ガンノシリ》瀬戸の中央線が熊本、鹿児島両県の県境を成し、大型船の常用する航路になっている。唐網代《カラジロ》瀬戸は八代港方面に至る小型船が常用する。また、この海域には多数の好避泊地が得られる。しかし、これらの水道、特に長島海峡及び八幡瀬戸には強潮流があり、一般に幅は広いが險礁が多く、通航は決して容易でない。この海域には夏季に「もや」が発生することが多く、あまり視界が良好でないという。

15

イカ漁期には、イカ釣り漁船が夜間に多数海峡内で操業している。

針路法(第21図参照)

長島海峡を経て八代港へ

20

1 長島海峡南口中央付近から戸島灯台(32° 11.9' N 130° 04.9' E)を方位005°に見て進む。

2 長島西端の大埼(32° 10.8' N 130° 05.4' E)正横で針路027°に変針し、赤島(32° 13.0' N 130° 05.5' E)と鳴瀬鼻(32° 12.8' N 130° 06.4' E)のほぼ中央に向ける。

3 鳴瀬鼻正横で針路052°に変針する。船首目標は待島《マテシマ》灯台(32° 16.6' N 130° 11.4' E)とする。

25

4 上の島《カミマテシマ》灯台(32° 15.8' N 130° 09.3' E)正横で針路018°に変針し、大曾根(32° 17.0' N 130° 11.0' E、水深4.7m)と天草下島(32° 18' N 130° 10' E)間の中央に向ける。

5 天草下島の梶木岳頂(32° 17.6' N 130° 09.3' E、高さ254m)正横で針路054°に変針し、角瀬(32° 18、7' N 130° 11.4' E、暗岩がある)を安全に避けて航過する。船首目標は牧島北側の萩島頂(32° 22.2' N 130° 18.5' E、高さ63m)。

30

6 惣津島(32° 20.2' N 130° 12.6' E)正横で針路095°に変針する。船首目標は葛《ツヅラ》島頂(32° 19.0' N 130° 16.6' E、高さ47m)。

7 獅子島北端のタグイ埼(32° 18.5' N 130° 15.4' E)正横で針路を除々に右に転じ、葛島とタグイ埼のほぼ中央に進む。

35

8 葛島ほぼ正横で針路144°に変針し、元ノ尻瀬戸を通過する。船首目標は水俣港入口の恋路島頂(32° 11.9' N 130° 22.0' E、高さ37m)。

9 元ノ尻《ガンノシリ》灯台(32° 18.3' N 130° 18.1' E)正横で針路102°に変針する。

10 御所浦島の北東部にある山頂(32° 20.7' N 130° 22.2' E、高さ269m)正横で針路045°に変針する。船首目標は柴島(32° 23.4' N 130° 28.7' E、高さ25m)。

- 1 ベイパイロット乗船場所 戸島灯台より 184° 2.2 海里 (32° 09.7' N 130° 04.7' E)
- 2 ベイパイロットサービス時間 24 時間
- 3 八代港ハーバーパイロット乗船場所 (日出～日没)
 錨泊船 航路 No. 1 ブイ 0.5 海里西 (32° 27.0' N 130° 29.0' E)
- 5 直航入港船 航路 No. 1, 2 ブイ 1 海里南 (32° 25.9' N 130° 29.2' E)

港湾施設

名 称		概 位	長 さ (m)	水 深 (約m)	係 船 能 力 (D/W×隻)	備 考
外 港	G0 岸壁	32° 31.6' N 130° 32.2' E	410	10.5	220,000×1	クルーズ船専用
	G1～G4 岸壁	32° 31.9' N 130° 32.4' E	650	10～11.5	15,000×4	
	G5・G6 岸壁	32° 32.2' N 130° 32.6' E	480	12～14	30,000×2	G6 岸壁にコンテナクレーンがある。
	G11～G12 岸壁	32° 31.5' N 130° 32.3' E	260	5～8.5	5,000×2	
	G13 岸壁		165	9	10,000×1	
内 港	N1～N8 岸壁	32° 30.5' N 130° 33.8' E	720	3～4.5	2,000×8	
	N9～N10 岸壁	32° 30.7' N 130° 33.3' E	260	5	5,000×2	
	-4.5m岸壁	32° 30.7' N 130° 34.0' E	60	4.5	500 t×1	

この他、会社専用の係船施設がある。

注意 大築島以北の海域各所に多数の漁さくがあり、レーダによく映るものの高潮のときは没するものもあるので注意を要する。

- 10 **最大入港船舶** 2015 年 7 月 23 日、旅客船 クァンタム・オブ・ザ・シーズ (168,666 t、喫水 8.9m) が外港岸壁に着岸した。

海事関係官公署

官 公 署 名	連 絡 先	官 公 署 名	連 絡 先
八代海上保安署 (港長)	0965-37-1477	福岡検疫所 水俣・八代出張所	鹿児島検疫所支所へ連絡 099-222-1473
長崎税関八代税関支署	0965-37-1603	熊本県 八代港管理事務所	0965-37-0338
門司植物防疫所 鹿児島支所八代出張所	0965-37-1544	福岡出入国在留管理局 熊本出張所	096-362-1721

- 15 **台風・津波対策** 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、八代港船舶津波、台風等対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：八代海上保安署)

医療施設

名 称	電 話 番 号	備 考
労働者健康安全機構熊本労災病院	0965-33-4151	

引船 引船がある。

修理 修理できる造船所がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

港湾施設

名称		概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
本 港	漁港区N岸壁 (-5.0m)	31° 35.2' N 130° 34.0' E	250	4	250GT×5	
	小川ふ頭岸壁 (-5.5m)	31° 35.9' N 130° 33.9' E	180	5.5	2,000×2	
	本港桜島フェリーふ頭岸壁 (-4.5m)	31° 35.8' N 130° 33.8' E	120	4.5	700×2	
	本港フェリーふ頭第3岸壁 (-4.5m)		60	4	1,000GT×1	
	北ふ頭1号岸壁 (-9.0m)	31° 35.7' N 130° 34.1' E	360	12~13.5	10,000×2	
	北ふ頭2号岸壁 (-7.5m)	31° 35.7' N 130° 34.0' E	310	8	5,000×2	
	南ふ頭1号岸壁 (-7.5m)	31° 35.5' N 130° 34.0' E	155	8	5,000×1	
	南ふ頭2号岸壁 (-7.5m)		155	7.5	5,000×1	
	南ふ頭3号岸壁 (-5.5m)		90	6.5	2,000×1	
	南ふ頭4号岸壁 (-5.5m)		90	6	2,000×1	
南ふ頭5号岸壁 (-6.0m)	31° 35.5' N 130° 34.1' E		150	7.5	4,000×1	
新 港	1号岸壁 (-7.5m)	31° 35.0' N 130° 34.0' E	125	7	5,000×1	
	2号岸壁 (-5.5m)		160	4.5	3,000×1	
	4号岸壁 (-5.5m)		160	4	3,000×2	
	5号岸壁 (-9.0m)	31° 34.8' N 130° 34.0' E	165	9	10,000×1	
	6号岸壁 (-7.5m)		260	7.5	8,000×1	
鴨池港突堤 (-4.5m)		31° 33.2' N 130° 33.7' E	150	4	700×2	
鴨池港第2突堤 (-4.5m)			160	4.5	990GT×2	
南 港	2号岸壁 (-4.7m)	31° 32.9' N 130° 32.9' E	161	4	700×2	
	3号岸壁(北) (-4.5m)		81	3.5	700×1	
	3号岸壁(南) (-4.5m)		125	4	700×2	
	4号岸壁 (-4.5m)	31° 32.8' N 130° 32.8' E	90	4	700×1	
	5号岸壁 (-4.5m)		80	3.5	700×1	
	6号岸壁 (-5.5m)		90	5.5	2,000×1	
	7号岸壁 (-5.5m)		174	5.5	2,000×1	
木材港1号岸壁 (-10m)		31° 32.0' N 130° 32.6' E	185	8.5	15,000×1	
マリンポート岸壁 (-9.0m)		31° 32.1' N 130° 33.3' E	340	9	70,000GT×1	
谷山 1区	1号岸壁 (-12m)	31° 30.5' N 130° 31.5' E	250	12	30,000×1	
	2号岸壁 (-7.5m)		260	7	5,000×2	
	3号岸壁 (-5.5m)		270	5	2,000×3	
	5号岸壁 (-5.5m)	31° 30.2' N 130° 31.4' E	400	5	2,000×4	
	6号岸壁 (-5.5m)		180	5.5	2,000×2	
	7号岸壁 (-7.5m)		260	7.5	5,000×2	
	8号岸壁 (-12m)		240	12	30,000×1	
谷山 2区	東ふ頭岸壁 (-7.5m)	31° 29.7' N 130° 32.2' E	390	7.5	5,000×3	
	1号岸壁 (-5.5m)	31° 29.5' N 130° 31.2' E	360	5	2,000×4	
	2号岸壁 (-5.5m)		270	5.5	2,000×3	
	3号岸壁 (-5.5m)		180	5.5	2,000×2	
	5号岸壁 (-5.5m)	31° 29.3' N 130° 31.0' E	270	5	2,000×3	
	6号岸壁 (-7.5m)		260	6.5~7.5	5,000×2	
	7号岸壁 (-7.5m)		390	5.5~7.5	5,000×3	
	8号岸壁 (-5.5m)		90	4.5~5.5	2,000×1	

	9号岸壁 (-6.5m)	31° 29.0' N 130° 31.0' E	90	4~5.5	2,000×1	
	10号岸壁 (-9.0m)		250	-	10,000×1	
	11号岸壁 (-9.0m)		250	6~8	10,000×1	

外国貿易船が使用する港湾施設などの保安を強化するための立ち入り制限区域がある。

最大入港船舶 2023年5月1日、客船MSCベリッシマ(171,598t、吃水8.7m)が、マリンポート岸壁に着岸した。

医療施設

名 称	電 話 番 号	名 称	電 話 番 号
鹿児島市立病院	099-230-7000	鹿児島大学病院	099-275-5111

5 **海事関係官公署**

官公署名	連 絡 先	官公署名	連 絡 先
第十管区海上保安本部	099-250-9800	福岡検疫所鹿児島検疫所支所	099-222-1473
鹿児島海上保安部(港長)	099-222-6680	門司植物防疫所鹿児島支所	099-222-1046
九州運輸局鹿児島運輸支局	099-222-5660	動物検疫所門司支所 鹿児島空港出張所	0995-43-9061
長崎税関鹿児島税関支署	099-260-3125	鹿児島県鹿児島地域振興局建設部	099-805-7414
福岡出入国在留管理局鹿児島出張所	099-222-5658		

台風・津波対策 本港では、台風、津波等による船舶事故を未然に防止するため鹿児島港台風・津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している(問合せ先:鹿児島海上保安部)。

引船 引船がある。

10 **修理** 修理のできる造船所がある。

補給 清水の補給は主な係船岸壁で可能であり、また、給水船がある。燃料油は、給油船から補給できる。

海上交通 沖縄、奄美、吐噶喇の各群島、種子島、屋久島、桜島及び鹿児島湾内の沿岸各地に至るカーフェリー便、那覇、名瀬、垂水及び指宿に至る定期旅客船便がある。

15

加治木《カジキ》港 (31° 44' N 130° 40' E) (海図W1255) (JP KJK)

港種 港則法適用港

概要 鹿児島湾北岸にある南方に開口している港である。主な取扱貨物は建設資材である砂、砂利及びセメントである。

20

潮流 自謝加瀬《ジジャカビセ》(26° 14.8' N 127° 39.3' E)、干ノ瀬《カンノビセ》(26° 14.0' N 127° 39.2' E) の西方では、上げ(下げ)潮流は北東(南西)方へ流れ、最強流速は上げ1.7kn 下げ1.6kn である。

目標

地物名	概位	備考
煙突	26° 15.0' N 127° 40.3' E	高さ62m、青白塗、浦添市クリーンセンター構内
港湾合同庁舎	26° 14.5' N 127° 40.6' E	高さ40m、赤レンガ造り、屋上にパラボラアンテナがある。
コンテナクレーン群	26° 14.0' N 127° 40.1' E	上部黄色、下部灰色、那覇国際コンテナターミナル内。
相順《ソウジュン》山	26° 13.9' N 127° 41.0' E	高さ46m、頂の北東側に病院がある。
無線塔	26° 11.0' N 127° 41.5' E	高さ地上165m、赤白塗、NHK 鉄塔、顕著。

5

港湾施設

名称		概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
那覇ふ頭	1号岸壁	26° 12.7' N 127° 40.1' E	165	7.5~9	10,000×1	
	2号岸壁		165	9	10,000×1	
	6号岸壁		93	8	5,000×1	
	3号岸壁	26° 12.7' N 127° 40.3' E	164	7.5~8.5	10,000×1	
	4号岸壁		70	6.5~3.5	1,000×1	
泊ふ頭	1号岸壁	26° 13.4' N 127° 41.0' E	105	5	3,000×1	
	2号岸壁		105	2.5~5.5	3,000×1	
	3号岸壁	26° 13.5' N 127° 41.0' E	105	5.5	3,000×1	
	4号岸壁		26	3.5~5	-	
	5号岸壁		75	2.9	500×1	
	6号岸壁		90	2.5~5	500×1	
	7号岸壁	26° 13.6' N 127° 40.9' E	105	3	3,000×1	
	8号岸壁	26° 13.6' N 127° 40.5' E	372	10~11	70,000×1	
新港ふ頭	1号岸壁	26° 14.2' N 127° 40.8' E	390	7.5	5,000×3	
	2号岸壁		70	4	2,000×1	
	3号岸壁		410	7.5	5,000×3	
	4号岸壁	26° 14.3' N 127° 40.7' E	410	7	5,000×3	
	5号岸壁		407	11	20,000×2	
	6号岸壁	26° 14.2' N 127° 40.5' E	387	10~11	20,000×2	
	7号岸壁		391	11	20,000×2	
	9号岸壁		26° 14.1' N 127° 40.0' E	300	14	40,000×1
	10号岸壁	350		14	40,000×1	コンテナクレーン
	浦添ふ頭	1号岸壁	26° 15.2' N 127° 41.0' E	130	7.5	5,000×1
2号岸壁		130		7.5	5,000×1	
3号岸壁		130		7.5	5,000×1	

の陸岸の前面 30m以内の海域は、米軍への提供水域となっており、一般船舶の立入りが制限されている。

錨地 通航路及び危険物積載船舶などの錨地を確保するため、標準錨地（標準錨地については港長に問い合わせること）が設けられており、この錨地は比較的安全に錨泊できるが、周囲はさんご礁で囲まれており、海底は険悪であるので、この海域の状況に詳しくない船舶は水先人なしでは投錨しないほうがよい。

5 検疫錨地は、新港第1防波堤の西方にある。

通信 船舶と第十一管区海上保安本部との間で無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	呼出応答/通信チャンネル	運用時間	連絡先
おきなわほあん Okinawa Coast Guard Radio	16/12ch	常時	第十一管区海上保安本部

水先 那覇港には強制水先区があり、那覇水先区水先人会へ要請する（第1編総記第6章水先参照）。那覇水先区の水先要請引き受け基準として、視程が700m以下の視界制限状態のとき、風速については那覇ふ頭地区への水先は10m/s以上の強風のとき、また、新港ふ頭地区への水先は13m/s以上の強風のとき、水先業務を引き受けない。また、この他に種々な基準があるので問い合わせが必要である。

10

架橋 泊ふ頭の西側付近に泊大橋（高さ25m、橋梁灯付）がある。

最大入港船舶 2023年5月2日、客船MSCベリッシマ（171,598t、吃水8.7m）が、泊ふ頭8号岸壁に着岸した。

台風・津波対策 本港では、台風、津波等による船舶事故を未然に防止するため那覇港台風及び津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒体制、避難、入港制限の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している（問合せ先：那覇海上保安部）。

15

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
第十一管区海上保安本部	098-867-0118	沖縄地区税関（本関）	098-868-8525
那覇海上保安部（港長）	098-951-0118	動物検疫所沖縄支所	098-861-4370
那覇検疫所（本所）	098-868-8037	福岡出入国在留管理局那覇支局	098-832-4186
那覇植物防疫事務所	098-868-0715	門司地方海難審判所那覇支所	098-868-9334
沖縄総合事務局運輸部	098-866-1836		

引船 引船がある。

修理 修理できる造船所がある。

20

補給 主な岸壁で清水、燃料油の補給ができる。

医療施設

名称	電話番号	備考
沖縄赤十字病院	098-853-3134	

海上交通 東京、阪神、鹿児島、志布志、名瀬、亀徳、和泊、与論、座間味、渡嘉敷、粟国、渡名喜、真泊、久米、伊江、南大東、北大東の各間に定期旅客船便及びフェリー一便がそれぞれある。なお、与論、和泊、亀徳、名瀬各港に寄港して阪神に至るフェリー一便は休航中である。

- 1 石垣港へ入港する船舶は海図W1206、W1285、W1286を備え置くこと。
- 2 石垣港域内で錨泊に適する海域は、検疫錨地のみである。但し、検疫錨地は非常に狭いので、同時に錨泊できる船舶に限りがある。(5,000 t以下の船舶では4隻が限度。)
- 3 同港周辺海域にはさんご礁からなる浅瀬が沢山あり、外国船舶の乗揚げ事故が頻発しているため入港する場合は、厳重に注意すること。
- 4 検疫錨地には入出港船舶のメイン航路が通っているため、検疫錨地に錨泊する船舶は入出針路及び錨泊位置については極力メイン航路を避けること。
- 5 入港経験不足により不安を感じた船長及び船舶の性能により航行が制限される大型船舶は、なるべく引船や水先人等を手配すること。
- 6 出入港船舶は、VHF16chを常時聴守すること。

港湾施設

名称		概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
浜崎町地区	A岸壁	24° 20.3' N 124° 09.1' E	60	3.5	1,000×1	
	B岸壁		100	5	1,000×1	
	C岸壁		130		5,000×1	工事中
	D岸壁		130	6.5~7	5,000×1	
	E岸壁		185	8.5~9	10,000×1	
	F岸壁		250	8.5	15,000×1	耐震強化岸壁
	-7.5m岸壁	24° 20.3' N 124° 08.7' E	170	6.5~7.5		
新港地区	-7.5m岸壁	24° 20.0' N 124° 08.9' E	130	7.5	5,000×1	
	-5m岸壁		140	3.5~4.5	1,000×2	

注意 岸壁に係留する場合、潮流に対して特に注意を払う必要がある。台風の際は、岸壁係留はできない。この島にはネズミが多いので、係留索にラットガードを付けることを忘れてはならない。

最大入港船舶 2023年5月3日、客船MSCベリッシマ(171,598 t、吃水8.7m)が、新港地区(新港クルーズ岸壁)に着岸した。

台風・津波対策 本港では台風・津波による事故を未然に防止するため石垣港災害対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒体制、避難、入港制限の勧告・解除等の台風災害防止措置を指導している(問合わせ先:石垣海上保安部)。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
石垣海上保安部	0980-83-0118	那覇植物防疫事務所石垣出張所	0980-82-2312
沖縄地区税関石垣税関支署	0980-82-3375	沖縄総合事務局石垣港湾事務所	0980-82-4740
福岡出入国在留管理局那覇支局石垣港出張所	0980-82-2333	沖縄総合事務局八重山運輸事務所	0980-82-4772
那覇検疫所石垣出張所	0980-82-4940	石垣市建設部港湾課	0980-82-4046

引船 引船がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。